

1. 第1回委員会での主な意見

令和5年6月20日開催

■ 図書館と体育館の複合化について

- 図書館と体育館を一緒にするのは難しいと思う。複合施設として整備するのは、体育館機能を有する施設、図書・地域センター機能を有する施設（計2施設）になると考えている。
- 体育館と図書室は全然違う性質の施設である。別に整備するのが現実的ではないか。
- 体育館と図書館を分けることは賛成。しかし完全に分けるのではなく、図書館にちょっとしたトレーニングルームを併設するなど、少し余白を残してはどうか。

■ 図書館の機能について

- 調理室、実習室については文化センターにもあるため、改めて作る必要はない。
- すぐ会議ができるような、あるいは小中学生も学校帰りに集うことができるような施設にしていただきたい。

■ 施設整備において留意すべき事項

- 生涯教育というくりの中では、体育館、図書館は同じくり。これらの施設はお金を生まない施設であり、次の世代に負の遺産を残してはいけないと思っている。せっかく作るならば、活用できるものを作りたい。

■ プールについて

- 体育館に併設してプールを整備していただきたい。可能であれば温水プールで、1年中利用できるのが理想。
- 当然温水プールが良いと思う。子供だけでなく、高齢者や障がい者の方が歩行浴のプールを利用することも想定される。学校の授業で利用することもできる。
- プールに関しては、利用者がかなり少ない。仮に作るのであれば、どの程度利用者が見込めて、どのような機能を持たせるのかについて、具体的な検討があった方がより実用的なものになると思う。

■ 図書館の新設に向けた検討課題について

- 現在図書館がある本町地区の地域センターはかなり老朽化しており、耐震問題も出ている。地域センターには社会福祉協議会のほか、会議室や色々な機材も入っており、どうするのが気になる。
- 社会福祉協議会については、「図書館」に限らず「生涯学習センター」という施設の中に入れていただければと思う。

■ 建設候補地について

- 図書館・地域センター機能を有した施設は候補地Cが良いと思うが、職員の配置や、実際に利用できるのかということが懸念される。駐車場の問題もある。狭いところにこだわらず考える必要がある。